

**i**CON

# UMIX1008<sup>SATELLITE</sup>

audio interface

24ビット 96/192KHz 10入力/8出力USB レコーディングインターフェース。



ユーザーズマニュアル



CE FC



N1630



## 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

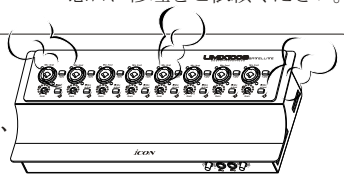
## 故障したら使わない

本体やACアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに  
お気づきの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口へ修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口へ修理を依頼する

変な音・  
においがしたら、  
煙が出たら



## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



## 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す  
記号



行為を禁止  
する記号



行為を指示  
する記号



## 警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

### 雷が鳴りだしたら、使用しない

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。屋外で使用時は、安全な場所へ避難してください。

### 持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップに手を通したまま本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。・熱器具に近づけない。加熱しない。・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイコンササービス窓口に交換をご依頼ください。



## 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

### 長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

### コード類は正しく配置する

電源コード、AVケーブルやUSBケーブルを抜くケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

# 内容

はじめに .....	1
同梱品 .....	1
機能 .....	2
フロント/トップパネル .....	3
リヤパネル .....	4
サイド・ パネル .....	4
<b>Mac</b> ドライバのインストール .....	5-6
ソフトウェアコントロールパネル( <b>Mac</b> ) .....	7
<b>Windows</b> ドライバのインストール .....	8-10
ソフトウェアコントロールパネル( <b>Windows</b> ) .....	11
ソフトウェアコントロールパネル ( 続き ) .....	12-13
ハードウェアの接続 (スタンドアロン・ ユニット) .....	14
ハードウェアの接続 ( <b>Qcon</b> のコントロール・ パネルとして使用) .....	15
最低システム要件 .....	16
仕様 .....	17
修理について .....	18

## はじめに

ICON Umix 1008 Satellite USB オーディオレコーディングインターフェースをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Umix 1008 Satellite USB オーディオレコーディングインターフェースの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、[www.icon-global.com](http://www.icon-global.com)にてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

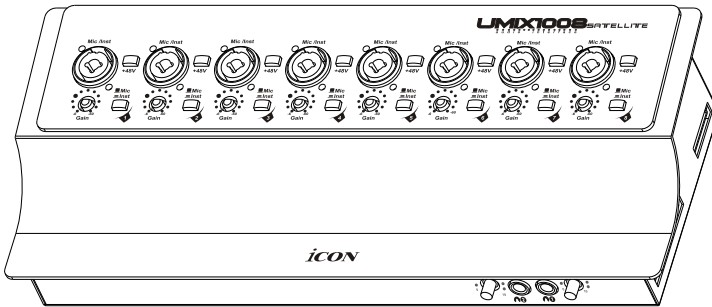
ご購入日：

## 同梱品

- Umix 1008 Satellite USBレコーディングインターフェースx 1
- クイック・スタート・ガイド1通
- ソフトウェアCD (ドライバ/取扱説明書/QSG/DAW ソフトウェア) x 1
- USBケーブル
- Qcon金属パネル1枚
- 12V/3A電源アダプターx 1 (スタンドアロン・ユニットの場合はオプション)

## 機能

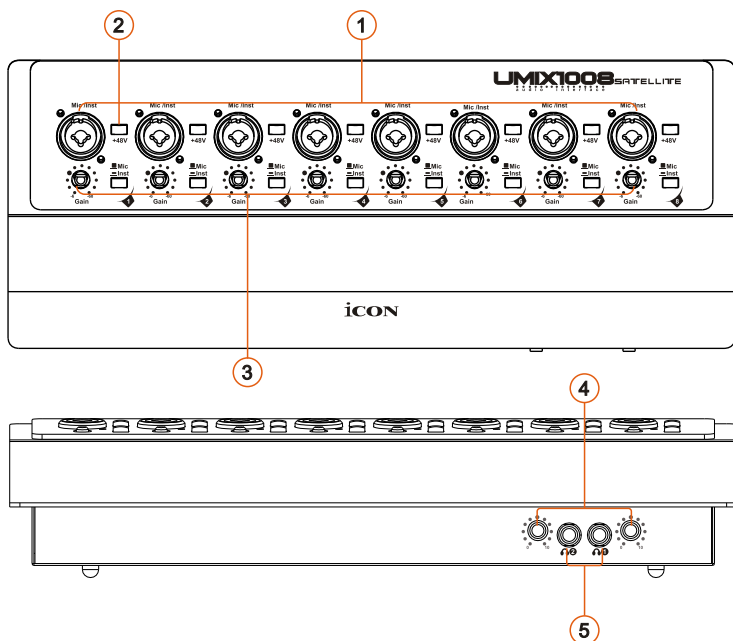
UMIX1008 SATELLITE



ICON Umix 1008 Satellite USBレコーディングインターフェースは、USB接続可能なオーディオ入出力モジュールです。主な機能：

- スタンドアロン・ユニットとしても、また、QconシリーズのMIDIコントロール・パネルとしても使用できます。
- 24ビット 96/192KHz 10入力/8出力USB レコーディングインターフェース。
- 8x6アナログラインI/O フルデュプレックス録音再生。
- 独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ8ュアルマイク/楽器用プリアンプ
- 1/4インチTRSジャックによるアナログ平衡入力8個。
- 1/4インチTRSジャックによるアナログ平衡出力6個。
- S/PDIF I/O RCA同軸コネクタ。
- 1 x 1 - 16チャンネル MIDI I/O
- ソース割当可能なヘッドホン出力2個。専用ボリュームコントロール付き。
- ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング。
- 高速USB2.0装着。
- DirectSound、WDM、ASIO2.0をサポート。
- Mac OS (Intel-Mac)、Windows XP、Vista (32ビット/64ビット)、Windows 7 (32ビット/64ビット)対応。
- フルデュプレックス、同時録音再生。
- 堅牢なアルミニウム筐体

## フロント/トップパネル



### ① 「Mic/Inst」入力 1～8

楽器不平衡入力およびマイクレベル平衡入力。このハイブリッド・コネクタには、標準3ピンXLRプラグまたは1/4インチTSコネクタが接続できます。

### ② 8Vファンタム電源スイッチ

このスイッチを押すと、それに関連したXLR入力に48Vファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。

### ③ 入力ゲインレベルコントロール1-8

関連アナログマイク/楽器/ライン入力の入力レベルコントロール用ポテンシオメータ。

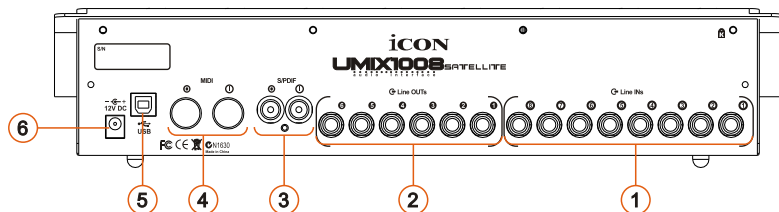
### ④ ヘッドホン・レベル・コントロール 1～2

ヘッドホン出力の出力レベルを調整するポテンシオメータ。

### ⑤ ヘッドホン出力 1～2

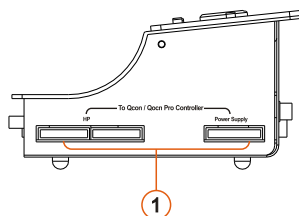
標準1/4インチTRSヘッドホン・コネクタ接続用出力ジャック。

## リヤパネル



- ① ライン入力 1-8  
-10dBライン・レベルの平衡アナログ入力用標準1/4インチTSコネクタ。
- ② ライン出力1-6  
+6dBライン・レベルの平衡アナログ出力用標準1/4インチTSコネクタ。
- ③ S/PDIF同軸I/Oコネクタ  
S/PDIFデジタル入出力用同軸RCAコネクタ。このデジタル入力、Umix 1008 Satelliteのソフトウェアコントロールで選択できます。デジタル出力は同軸ケーブルに送出されます。
- ④ MIDI I/Oコネクタ  
MIDI入出力用標準5ピンDINコネクタ。
- ⑤ USB 2.0コネクタ  
付属のケーブルで、本器とご使用のMacまたはPCのUSBコネクタとを接続します。ご使用のMacまたはPCがUSB2.0接続可能でなければ、Umix 1008 Satelliteをフルスピードで動作させることはできません。
- ⑥ 12V/3A電源アダプター (オプション)  
ここに、付属の電源アダプターを接続します。  
(注意：Umix 1008 Satelliteは、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USBバス電源では、Umix 1008 Satelliteを動作させるための十分な電源を供給することはできません。)

## サイド・パネル



- ① Qconへの信号および電源コネクタ (Qconへのオーディオ・インターフェース・プラグインとして使用)  
これらのコネクタにQcon対応ケーブルを接続すると、Umix 1008 Satelliteに信号と電源が供給されます。



# Macドライバのインストール

次の手順に従って、Umix1008 Satellite USBレコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

- ① Macの電源を入れる  
(注意: ここではまだMacにUmix1008 Satellite デジタルオーディオインターフェースを接続しないでください)

- ② CD-ROMにドライバCDを挿入する  
CD-ROMに本器付属のドライバCDを挿入すると、図1のようなポップアップウィンドウが表示されます。「Mac」フォルダをクリックするとインストールファイルの一覧表が開きます。「ICON\_USB Audio. mpkg」をクリックしてください。

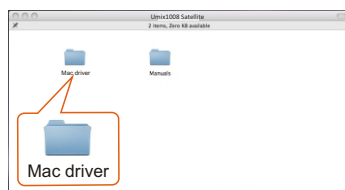


図 1

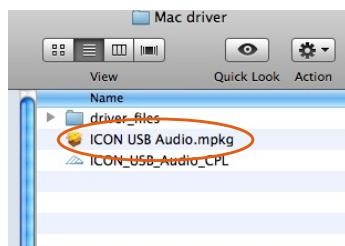


図 2

- ③ ようこそ」画面が表示される  
図3のような「ようこそ」画面が表示されたら「継続」を選択してください。

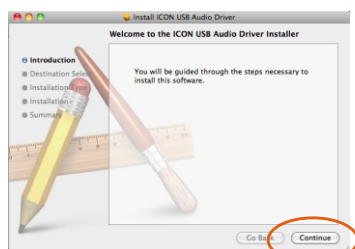


図 3

- ④ インストール場所を設定する  
お好みのインストール場所を設定したい場合は「インストール場所を変更する」ボタンをクリックします。それ以外は、「インストール」ボタンをクリックしてください。

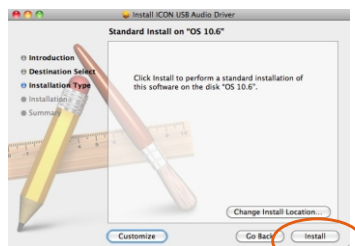


図 4

- ⑤ インストールの開始  
ドライバのインストールが開始されます。このプロセスが完了するまでお待ちください。

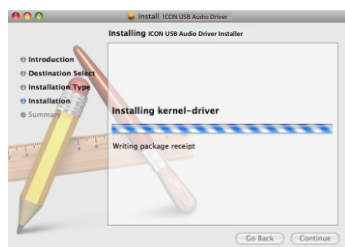


図 5

## Macドライバのインストール

- ⑥ インストールの完了  
ドライバのインストールが完了しました。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

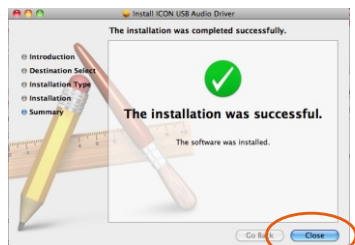


図 6

- ⑦ デスクトップにソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをコピーする  
上で示した「Mac」フォルダを開きます。「Umix1008」ソフトウェアパネルのショートカットロゴをコピーし、デスクトップに貼り付けてください。

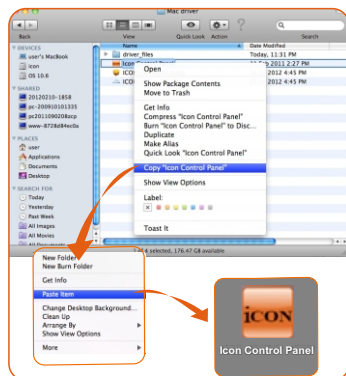


図 7

- ⑧ ソフトウェアコントロールパネルを起動する  
たった今デスクトップにコピーしたUmix1008ソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。

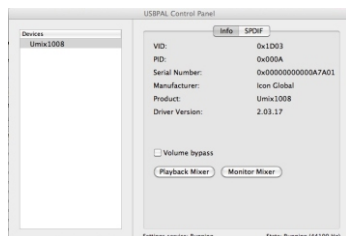


図 8

- ⑨ オーディオMIDIセットアップ  
「オーディオMIDIセットアップ」ウィンドウを開き、下の図9のように、Umix1008 Satellite デバイスのセットアップが正しく行なわれたかを確認してください。Umix1008 Satellite デバイスがシステムセットアップに表示されない場合、インストールが正しく行なわれていないので、もう一度「ドライバのインストール」手順を実行してください。

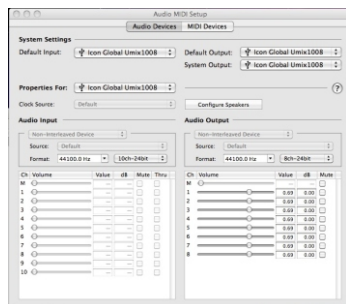
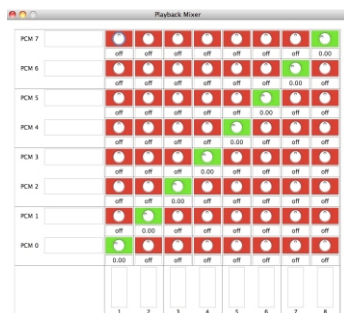


図 9

## ソフトウェアコントロールパネル

「再生」ミキサと「モニタ」ミキサは、マトリックスミキサと同様に作動します。対応する入力または出力チャンネルレベルを起動して調整してください。これらは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

### 再生ミキサ



### 再生ミキサ

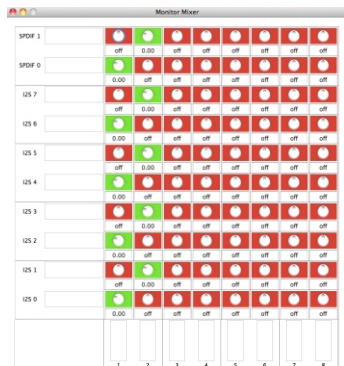
#### ソフトウェア出力レベルメーターリング

チャンネル1-6 & S/PDIF出力レベルメーターリング  
ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

#### ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル1-6 & S/PDIF出力レベルメーターリング  
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

### モニタミキサ



### モニタミキサ

#### ハードウェア入力レベルメーターリング

チャンネル1-8 & S/PDIF入力レベルメーターリング  
ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

#### ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル1-6 & S/PDIF出力レベルメーターリング  
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

# Windowsドライバのインストール

次の手順に従って、Umix1008 Satellite USBレコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

- ① コンピュータの電源を入れる  
(注意：ここではまだコンピュータにUmix1008 Satellite デジタルオーディオインターフェースを接続しないでください)

- ② CD-ROMにドライバCDを挿入する  
CD-ROMに本器付属のドライバCDを挿入すると、図1のようなインストール画面が表示されます。ドライバをインストールするには、「Windowsドライバ」をクリックします。

注意：インストール画面が自動的に表示されない場合、CDのフォルダで、「セットアップ」をダブルクリックしてください。



図 1

- ③ インストールウィザードが表示される  
図2のような「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。



図 2

- ④ ライセンス契約書  
「ライセンス契約書の条項に同意します」にチェックマークを入れ、「次へ」をクリックします。

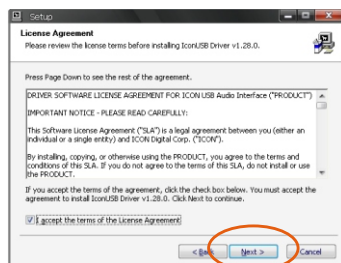


図 3

- ⑤ ドライバインストールの確認  
ドライバインストールの確認画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

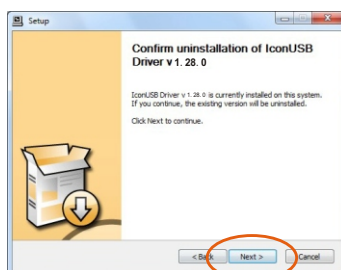


図 4

# Windowsドライバのインストール

## ⑥ ドライバセットアップ

図5に示すようにドライバをインストールする場所を選択して「次へ」をクリックします。

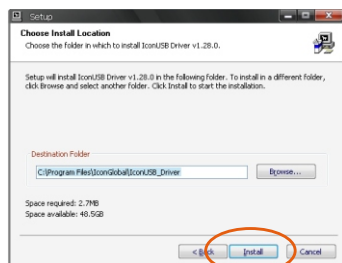


図 5

## ⑦ インストールの開始

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

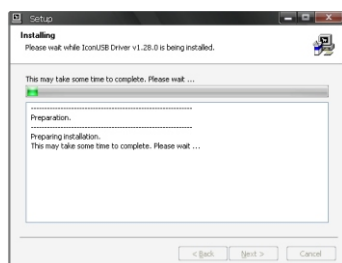


図 6

## ⑧ ソフトウェアインストールウィンドウ

図7のようなウィンドウが表示されます。「とにかくこのドライバソフトウェアをインストールする」を選択してください。

注意：このようなメッセージが表示されますが、Umix1008 SatelliteのドライバはWindows XP、Vista、Windows 7でサポートされることが試験済みですからご安心ください。



図 7

## ⑨ セットアップの完了

図8のようなウィンドウが表示されます。「次へ」を選択してください。

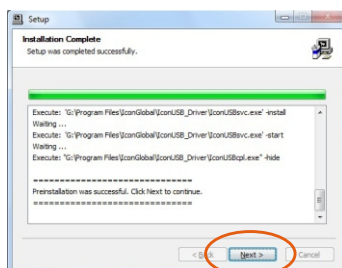


図 8

## Windowsドライバのインストール

- ⑩ Umix1008 Satelliteデジタルオーディオインターフェースを接続する  
ではここで、コンピュータのUSB  
ポートにUmix1008 Satelliteデジタル  
オーディオインターフェースを接  
続して、「終了」をクリックして  
ください。

注意：Umix1008 Satelliteオーディオインター  
フェースはUSB 2.0しかサポートしません。  
ですから、ご使用のコンピュータにはUSB  
2.0が装着されていなければなりません。

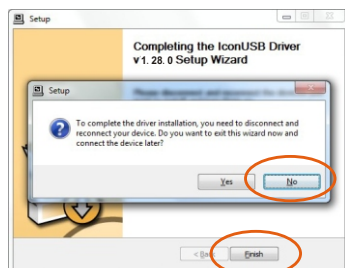


図 9

- ⑪ デバイスドライバソフト  
ウェアのインストール  
Umix1008 Satelliteドライバ  
がインストールされます。

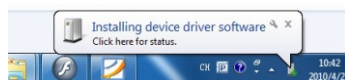


図 10

- ⑫ ドライバのインストールの完了  
Umix1008 Satelliteドライバのイン  
ストールが完了したので、使い始  
めることができます。



図 11

- ⑬ ソフトウェアコントロールパネル  
を起動する  
システムトレイのUmix1008 Satellite  
ロゴをクリックすると、ソフトウェ  
アコントロールパネルが起動します  
(11ページ)。

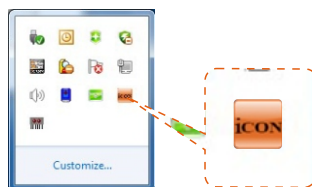


図 12

注: ドライバの最新バージョンは[www.icon-global.com](http://www.icon-global.com) のウエ  
ブサイトご参照ください

## ソフトウェアコントロールパネル

### サンプリングレートの設定

図1のプルダウンウィンドウで、44.1KHz ～ 192KHzのいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。選択した後で「適用」をクリックすると、その値に設定されます。

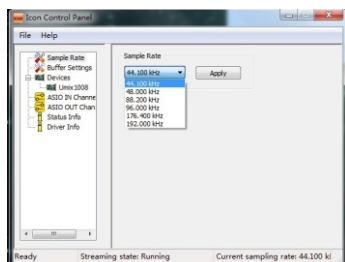


図 1

### バッファサイズの設定

「ストリーミング」と「ASIO」のバッファサイズを選択することができます。選択した後で「適用」をクリックしてください。

(注意: クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分なため、タスクを処理しきれないことを意味します。(これは、Umix 1008 Satelliteデジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません)

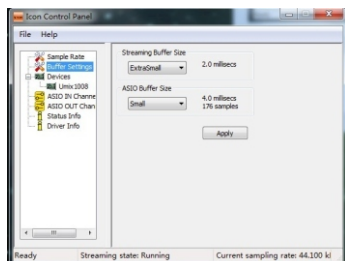


図 2

### デバイスの設定

Umix 1008 Satelliteデバイスのシリアル番号と製品IDが表示されます。表示されない場合、デバイスが正しく接続されていないことを意味しています。もう一度「ドライバのインストール」手順 (8ページ) を繰り返してください。

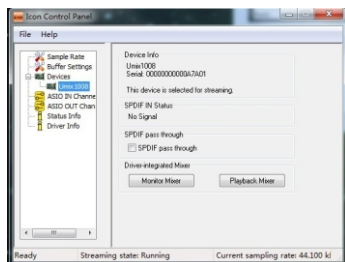


図 3

### モニタミキサ

このボタンをクリックすると、「モニタミキサ」 (12ページ) が起動します。

### 再生ミキサ

このボタンをクリックすると、「再生ミキサ」 (13ページ) が起動します。

### S/PDIF ステータスとパススルー

S/PDIFデバイス信号ステータスを表示します。

### S/PDIFパススルー

S/PDIF信号パススルーが必要な場合、ボックスにチェックマークを入れてください。

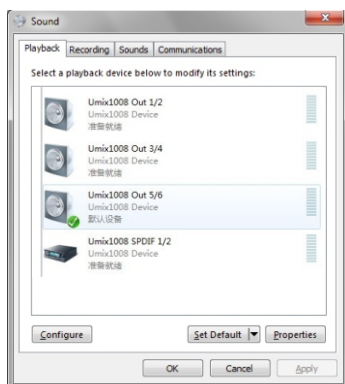


図 4

## ソフトウェアコントロールパネル ( 続き )

## モニタミキサ



- ① **ハードウェア入力レベルメーターリング**  
チャンネル1-8 & S/PDIF入力レベルメーターリング  
ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。
- ② **ハードウェア出力レベルメーターリング**  
チャンネル1-6 & S/PDIF出力レベルメーターリング  
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。
- ③ **仮想入力レベルメーターリング**  
仮想1-8入力レベルメーターリング  
仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。
- ④ **リンクスイッチ**  
両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。
- ⑤ **ミュートスイッチ**  
対応するチャンネルをミュートするスイッチ。
- ⑥ **「0dB」スイッチ**  
対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。
- ⑦ **ゲインコントロールフェーダー**  
これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。
- ⑧ **入力&出力マトリックススイッチ**  
ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。
- ⑨ **入力&出力マトリックスミキサ**  
このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。
- ⑩ **入力&出力マトリックスミキサゲインコントロール**  
対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。



## 再生ミキサ



- ① ソフトウェア出力レベルメーターリング  
チャンネル1-6 & S/PDIF出力レベルメーターリング  
ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。
- ② ハードウェア出力レベルメーターリング  
チャンネル1-6 & S/PDIF出力レベルメーターリング  
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。
- ③ 仮想入力レベルメーターリング  
仮想1-8入力レベルメーターリング  
仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。
- ④ リンクスイッチ  
両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。
- ⑤ ミュートスイッチ  
対応するチャンネルをミュートするスイッチ。
- ⑥ 「0dB」スイッチ  
対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。
- ⑦ ゲインコントロールフェーダー  
これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。
- ⑧ 入力&出力マトリックススイッチ  
ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。
- ⑨ 入力&出力マトリックスミキサ  
このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。
- ⑩ 入力&出力マトリックスミキサゲインコントロール  
対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

## ハードウェアの接続 (スタンドアロン・ユニット)

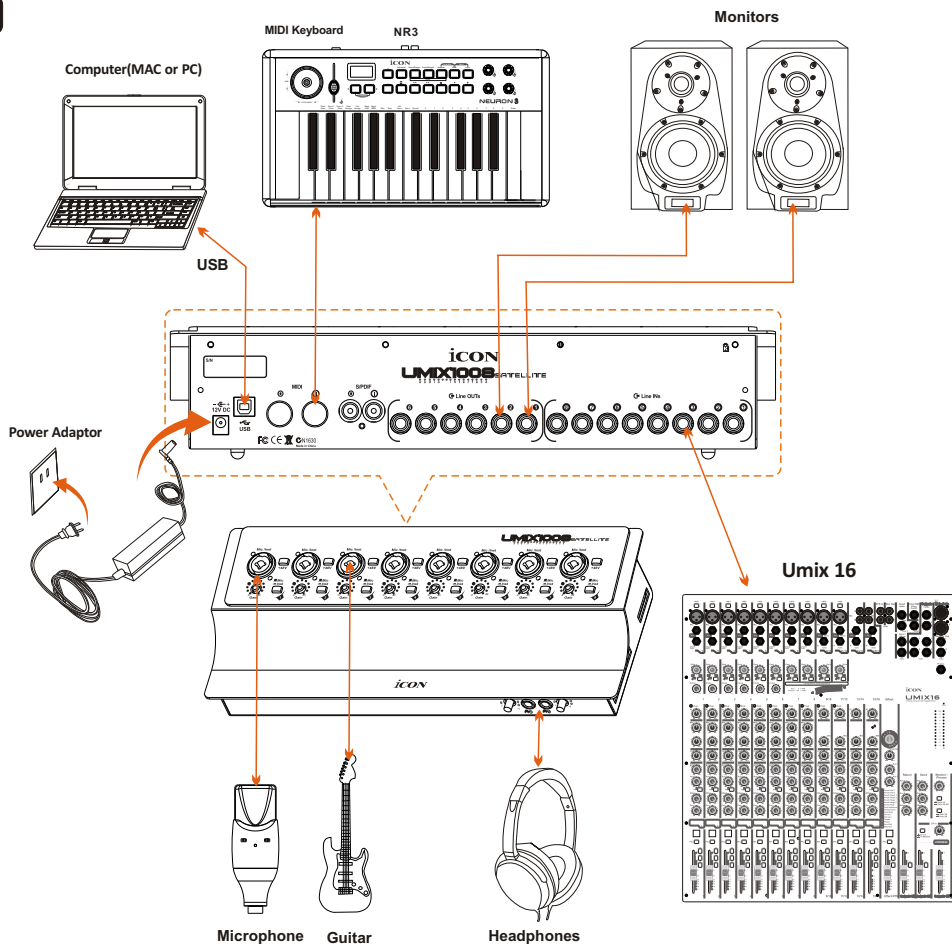
Umix 1008 satellite デジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワードモニターやサウンドシステムに接続してください。2チャンネルステレオ動作です。デフォルト出力はチャンネル1と2です。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。

同軸デジタルI/OにS/PDIFデジタルデバイスを、MIDI I/OにMIDIデバイスをそれぞれ接続してください。

### 接続



# ハードウェアの接続 (Qconのコントロール・パネルとして使用)

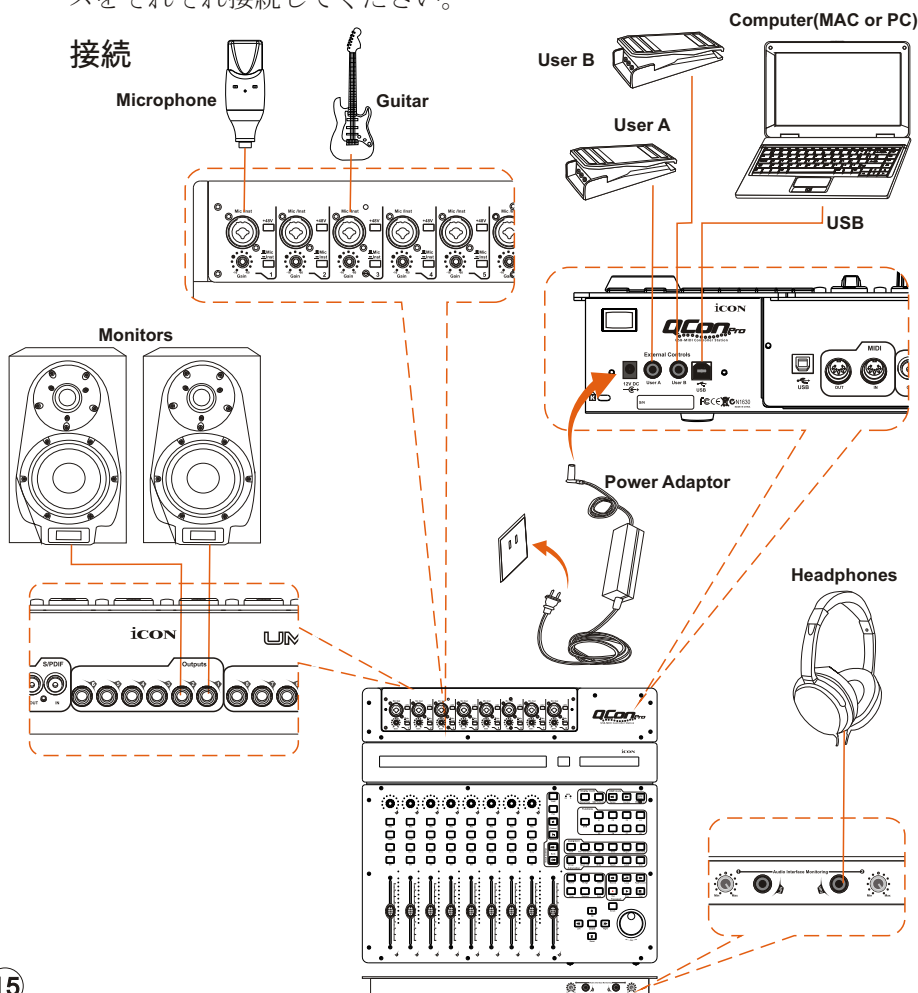
Qconのリア・パネルを取り外します。サイド・パネルにあるUmix 1008 Satelliteコネクタに2本のケーブルを接続します。Umix 1008 Satelliteに、付属の追加リア・パネルを取り付け、ユニット全体をQconのリア・スロットに取り付けます。

Umix 1008 satelliteデジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワーモニターやサラウンドシステムに接続してください。2チャンネルステレオ動作です。デフォルト出力はチャンネル1と2です。

ヘッドホンでモニタする場合、Qconのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。

同軸デジタルI/OにS/PDIFデジタルデバイスを、MIDI I/OにMIDIデバイスをそれぞれ接続してください。



## 最低システム要件

重要：Umix 1008 Satelliteデジタルオーディオインターフェースは、Mac OS（Intel-Mac）、Windows XP、Windows Vista、Windows 7（32ビット/64ビット）で動作します。Umix 1008 Satelliteデジタルオーディオインターフェースは、Windows 98やWindows Meでは動作しません。Windows XPの場合、SP1またはそれ以降がインストールされている必要があります。Windowsアップデートサイトにアクセスし、マイクロソフトが提供している現行のアップデートや修正がインストールされていることを確認してください。Macの場合、Umix 1008 SatelliteデジタルオーディオインターフェースはMac OSX version 10.5.5またはそれ以降（Intel-Macのみ）でしか動作しません。それ以前のバージョンのMac OSでは動作しません。

### Windowsの場合：

Pentium 4 -1.0GHzまたはそれ以上

1.0GB RAM

DirectX 8.1またはそれ以降

Windows XP（SP1）、Windows 2000（SP3）、

Windows Vista、Windows 7

### Macの場合：

Intel-Mac 1.0GHzまたはそれ以上

1.0GB RAM

OS 10.5.5またはそれ以降

## 仕様

重量 :	1.9kg (4.2lb)
寸法 :	360(L) X 149(W) X 72(H)
	14.2"(L) x 5.9"(W) x 2.8"(H)

### **Mic/Inst 1-8 Inputs (Balanced; at Minimum Gain):**

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)  
 Dynamic Range: 100dB, A-weighted  
 Signal-to-Noise Ratio: -100dB, A-weighted  
 THD+N: <0.0048% (-90dB)  
 Crosstalk: -100dB @ 1kHz  
 Input Impedance: Inst in: 390K Ohms, typical;  
 Mic in: 1.8K Ohms, typical  
 Adjustable Gain: +53dB  
 Total Gain Range: +53dB

### **Line Inputs 1-8 (balanced):**

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)  
 Dynamic Range: 100dB, A-weighted  
 Signal-to-Noise Ratio: -100dB, A-weighted  
 THD+N: <0.0048% (-90dB)  
 Crosstalk: -100dB @ 1kHz  
 Nominal Input Level: Balanced: +4dBu  
 Unbalanced: -10dBV  
 Maximum Input level: Balanced: +10.2dBu, typical;  
 Unbalanced: +2.0dBV, typical  
 Input Impedance: 10K Ohms, typical

### **Line Outputs 1-6 (balanced):**

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)  
 Dynamic Range: 102dB, A-weighted  
 Signal-to-Noise Ratio: -102dB, A-weighted  
 THD+N: <0.003% (-90 dB)  
 Crosstalk: -100dB @ 1kHz  
 Nominal Output Level: Balanced: +4dBu  
 Unbalanced: -10dBV  
 Maximum Output Level: Balanced: +10.2dBu, typical;  
 Unbalanced: +2.0dBV, typical  
 Output Impedance: 150 Ohm  
 Load Impedance: 600 Ohm minimum

### **Headphone Outputs: 1 & 2 (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):**

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-1dB)  
 Power into Ohms: 90 mW into 100 Ohms  
 THD+N: <0.06% (-66dB)  
 Signal-to-Noise Ratio: -90dB, A-weighted  
 Max Output Level into 100 Ohms: +2.0dBV, typical  
 Output Impedance: 75 Ohm  
 Load Impedance: 32 to 600 Ohms

## 修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。

### アメリカ事務所

ICON Digital Corporation  
8001 Terrace Ave., Suite 201  
Middleton, WI, 53562  
USA

### アジア事務所

ICON (Asia) Corp.  
Unit 807-810, 8/F., Sunley Centre,  
No. 9 Wing Yin Street, Kwai Chung, NT.,  
Hong Kong.

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト（[www.icon-global.com](http://www.icon-global.com)）をご覧ください。



**i**CON®  
*[www.icon-global.com](http://www.icon-global.com)*  
*[info@icon-global.com](mailto:info@icon-global.com)*

